

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連 (東北)		*	*	*
		商店街（代表者）	来客数の動き	・全体的な動きに変化はないものの、天候が良いためその影響が大きく現れている。客単価は前年並みであるが来客数が前年を上回っており、全体としての前年比は102～103%で推移している。
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・寒波の影響もあり、暖房商材の売行きが好調である。また、冷蔵庫や洗濯機などの白物家電の客単価も上昇しており、前年の数字を上回っている。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・例年どおり、雪解けに合わせて車の乗換えを検討する客が増えてきている。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・3か月前は自動車メーカーの不正検査問題によるリコールのため販売量が伸びなかったが、今月は少し良くなっている。
		住関連専門店（経営者）	販売量の動き	・注文家具の納品が進んでいるため、若干ではあるが販売量が増加している。
		住関連専門店（経営者）	単価の動き	・今月は大型の高額商材が売れており、売上を押し上げている。
		その他小売 [ショッピングセンター]（統括）	単価の動き	・春物を中心とした新しいニーズにこたえる品ぞろえにしたことから客単価が上昇しており、来客数も増加している。また、春節を契機としたインバウンド客の需要も増えている。
		その他サービス [自動車整備業]（経営者）	販売量の動き	・来客数、売上、販売量共に好調である。原油関連の価格高騰により値上げをしたが、販売量は減少することなく増加傾向にある。
		住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・関東在住の相続権者による地元の空き家の処分依頼があり、解体工事、土地仲介、新築工事の受注と、1件で複数の受注が発生している。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・1月から引き続いて天候が悪く、とにかく人が外を歩かない。そのため、商店街も全く機能していない状態である。
		一般小売店 [医薬品]（経営者）	お客様の様子	・今年は気温が低いことと大雪により売上が前年を下回る日が続いている。また、来客数も前年比5%の落ち込みとなっている。
		一般小売店 [カメラ]（店長）	販売量の動き	・販売量は横ばいで推移している。また、低額商材は厳しい状況であるものの、高額商材が好調のため、売上は確保している。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・世の中の動きに大きな変化がないため、景気にも大きな変化はみられていない。
		百貨店（経営者）	販売量の動き	・高額商材は依然として堅調に推移しているものの、これまで比較的順調であったファッション関係は、気温の低い状態が続いているため春物の購買意欲が減少気味であり苦戦している。ただし、前半のパレンティンは盛り上がりつつあるため、全体としては前年並みの推移となっている。
		スーパー（経営者）	単価の動き	・2月は、野菜の価格高騰や一部加工食品の値上げもあり、平均1品単価が前年を上回ったものの、来客数と購入点数は前年を下回っており、全体として余り芳しい状態ではない。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・客単価は前年を上回る状況が続いているが、来客数が減少している。販売店の増加による競争激化が影響している。
		スーパー（総務担当）	単価の動き	・寒さや雪の影響で来客数は減少しているものの、客単価が上昇しているため、売上は前年を上回っている。
		スーパー（営業担当）	単価の動き	・来客数は前年を下回っているが、特売価格の強度を上げることにより購入点数が増加し、客単価を押し上げている。結果として、客単価の上昇により前年並みの売上を確保している状態であり、変化は小さい。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・地方の景気は、首都圏と違いかなり悪いままで推移している。公共事業の減少により、建設関係の来客数が減少している。
	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数が前年比で4ポイント低下している。客単価が前年を上回っているため、売上の前年比は2ポイントの低下にとどまっているものの、厳しい状況が続いている。	
	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・クレジットカードの手数料サービスや、購入額に応じたプレゼントをつけたセールの実施により、来客数が増加し売上も伸びている。	

衣料品専門店 (経営者)	お客様の様子	・特定の業種において作業服、事務服の新規受注があり、販売量も多かったが、店頭では積雪による道路状況の悪化により、来客数が減少している。
衣料品専門店 (店長)	お客様の様子	・卒業、入学の需要によるテーラードの動きは順調に推移しているが、春物商材へのニーズが高まっていないカジュアル関係が苦戦している。
衣料品専門店 (店長)	来客数の動き	・天候の影響と、若者世代の人口減少により、フレッシュャーズの来客数が大幅に減少している。
衣料品専門店 (総務担当)	来客数の動き	・端境期のためセール品の多い商品構成となっているが、客に購買意欲がみられていない。
乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・来客数は多少増加しているものの、受注量の前年比に変化がみられない。
乗用車販売店 (本部)	来客数の動き	・大規模イベントを試みたものの、来客数に伸びがみられず、業績は前年並みで推移している。
その他専門店 [白衣・ユニフォーム](営業担当)	販売量の動き	・実際に売上に結び付くかは不明であるが、新年度に向けたそれなりの数の動きがみられている。
その他専門店 [ガソリンスタンド](営業担当)	販売量の動き	・気温の低下により、灯油を中心とした季節商材の伸びはあるものの、中心となるガソリンは前年を下回っている。
高級レストラン (支配人)	競争相手の様子	・同業他社からも余り良い話を聞いていない。
一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・団体客の予約は多少入っているものの、個人客を中心に予約が少ないため、景気が上向いているという雰囲気はない。
一般レストラン (経営者)	お客様の様子	・客からは、余り仕事の状況が良くないという話を聞くことが多い。同時に、同業他社も頭を抱えている状況のようである。
観光型旅館(スタッフ)	販売量の動き	・原因は不明であるが、販売量は横ばいで推移している。
都市型ホテル (スタッフ)	販売量の動き	・宿泊部門は前年並みであり、宴会部門も忘新年会は平年並みに受注できている。レストラン部門は和室の個人利用が減少したものの、僅かながら予算を上回っている。
旅行代理店(経営者)	販売量の動き	・団体旅行は堅調であるが、個人旅行の先行予約は前年を下回っている。
旅行代理店(従業員)	販売量の動き	・個人旅行の申込みや取扱いに大きな増加傾向はみられていない。また、大雪の影響もあり販売量はほぼ横ばいで推移している。
通信会社(営業担当)	お客様の様子	・2月は公共事業の予算消化時期でもあり、景気は横ばいの状態である。3～4月の卒業入学シーズンに備えているのか、消費動向は鈍化している。また、確定申告時期のため、中小企業の社長なども事務処理に追われており、営業も停滞気味になっている。
通信会社(営業担当)	お客様の様子	・客の設備投資意欲に変化はみられない。
通信会社(営業担当)	お客様の様子	・2月に入り今までにない豪雪となっている。例年より冬の様相が長引いているため、客の購買意欲が鈍り、契約者数も伸び悩んでいる。
通信会社(営業担当)	お客様の様子	・客はコスト削減の要求ばかりであり、新製品が売れない状態が続いている。
観光名所(職員)	来客数の動き	・売上が前年を上回り大変好調ではあるが、インバウンド客による底上げであり、日本人客が若干減っていることが気に掛かる。
遊園地(経営者)	それ以外	・今月は休園中であり営業をしていないが、団体予約は例年並みとなっている。
競艇場(職員)	来客数の動き	・イベントの有無による来客数の差が大きくなっている。
その他住宅[リフォーム](従業員)	来客数の動き	・年明けより問合せ件数が前年を下回っている。なかでも塗装工事が増えていない。
商店街(代表者)	販売量の動き	・例年にない寒さのため、客の出足が鈍っているように見受けられる。また、飲食店では食料品などの価格高騰による売上への影響が散見されている。
商店街(代表者)	来客数の動き	・大雪や寒波の影響で商店街への来街者数が減少している。また、野菜などの食料品の価格が高止まりしており、消費も停滞気味である。

一般小売店〔書籍〕（経営者）	販売量の動き	・世界及び国内経済のゆがみ、株価の不安定感、平昌オリンピックによる消費の停滞、局地的な雪により、全体の消費マインドが上がらない。
一般小売店〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・例年にない冷え込みと降雪量の影響が大きい。消費者は経済的にも身体的にも疲弊してしまい、夜に出歩かなくなったことで、飲食店への販売量が減少している。飲食店側も対策を立てられずに悲鳴をあげている。
一般小売店〔医薬品〕（経営者）	来客数の動き	・2月後半の年金支給日以降から客単価が急速に改善したことで、売上の極端な悪化を免れているものの、来客数の減少傾向に改善の兆しが全くみられていない。大変悪い状況ではあるものの、まとめ買いをする客も多く、購買意欲が冷え切っているとまでは言い切れない。
百貨店（売場主任）	来客数の動き	・大雪と日常的な強い冷え込みにより、来客数が著しく減少している。
百貨店（営業担当）	販売量の動き	・時計、宝飾品、ブランド品などの高額商材の動きが鈍い状況が続いている。また、冬物の動きが好調であった衣料品においても、紳士服の動きが弱まっている。春物は立ち上がり始めているが、気温が低い状態が続いているため、定価品の出足が遅い印象を受ける。さらに、物産展も引き続き売上が厳しい状態である。
スーパー（営業担当）	お客様の様子	・1月に続き2月も週末にかけて雪の日が多く、来客数が減少している。特に日曜日の午前中は雪かきなどにより来客数の減少幅が大きい。日曜日はポイント倍セールを実施している関係上、日曜日の来客数減少は全体の売上にも大きく影響を及ぼしている。
コンビニ（経営者）	来客数の動き	・近隣ビルのテナントが引っ越し、なじみ客が減少している。また、恵方巻きのイベントの曜日まわりが悪く、不発に終わっている。バレンタイン商戦もぱっとせず、今月はこれといったプラス材料がない。
コンビニ（経営者）	来客数の動き	・客単価は前年を維持しているものの、来客数の減少が続いている。特に夜中の客が減っている。
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・競合店出店の影響もあり、来客数の減少が顕著に数字に表れている。
コンビニ（店長）	来客数の動き	・大雪により夕夜間の来客数が激減している。売上が落ちているなか、除雪費や光熱費が重く押し掛かり、利益的にはかなり厳しい状況である。
衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・季節に関係のないイベントはそれなりに好調であるが、寒さのため春物の実売にはつながっていない。一方で、冬物の動きも止まっている。
衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・春物への購入意欲が高まり、新生活に向けた学生などの来客数が増える時期であるが、今年は大雪や例年よりも長引く寒さの影響により、客の動きが1～2週間ずれ込んでいる。非常に大きいマーケットのため、これを今から取り返すことは難しい。
住関連専門店（経営者）	来客数の動き	・寒さと降雪により、来客数が非常に良くない。また、客の節約志向が高まっているように見受けられる。
その他専門店〔酒〕（経営者）	来客数の動き	・地元の雪まつりでは、大雪のため店舗への来客数が少ない状況である。
その他専門店〔食品〕（経営者）	販売量の動き	・地元の雪まつりの来客数は期待したほどではなく、財布のひもも固いままである。
その他専門店〔靴〕（従業員）	販売量の動き	・降雪のため長靴などの動きは活発であるが、春物の動きが鈍い。
その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	販売量の動き	・暖房用燃料の需要が前年並みに落ち着いてきている。前月までは、寒波の影響で伸びた需要で粗利益の落ち込みをカバーしていたが、販売量が前年並みとなったことで、利益が落ち込んできている。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・株価の下落や大雪の影響、さらには平昌オリンピックを家で観戦するため、来客数が減少している。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・2～3か月前は忘年会などがあったため忙しかったが、今月は例年同様に暇な月となっている。

	一般レストラン (経営者)	お客様の様子	・前月に引き続き悪天候が客足を止めている。天気予報の精度が高まっているため、大雪の予報がされると出張の予定もかき消されてしまう。また、家庭での雪かきでエネルギーを使ってしまうため、地元の人すら夜に繁華街に出て来られない状況である。
	観光型旅館(経営者)	来客数の動き	・悪天候の日が多く、客の動きが鈍っている。
	都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・1～2月は悪天候により来客数の動きに鈍さがみられている。予定が決まっている宴会などは堅調であり、宿泊も若干上回っているものの、レストランは来客数の減少が著しい状況である。
	都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・寒波の影響によりレストランの来客数が減少しているため、売上も伸びていない。
	旅行代理店(店長)	お客様の様子	・国内旅行において、団体旅行の問合せ件数が減っている。ただし、海外旅行の申込件数は多い。
	通信会社(営業担当)	単価の動き	・前年当初から収入はそのまま物価の上昇が続いている。消費者の支出の動きは鈍く、景気は横ばい若しくはやや悪い状態である。
	観光名所(職員)	来客数の動き	・気温が低く積雪も多いため、一般の来客数が極端に少ない状態である。
	美容室(経営者)	単価の動き	・一時は回復したかにもえた客単価が、ボーナス月を抜けて通常の動きとなったことから、前年を下回る状況となっている。
	美容室(経営者)	来客数の動き	・寒さで来客数が非常に少ない状態である。
x	一般小売店[医薬品](経営者)	お客様の様子	・2月中旬の大雪により来客数が減少したが、その後も平昌オリンピックの閉会式まで、深夜のにぎわいがなくなっている。また、周辺では2月末で閉店する店舗も出ている。
x	百貨店(買付担当)	来客数の動き	・大雪や積雪による来客数の減少が大きい。また、平昌オリンピックも来客数減少の要因になったとみられる。
x	スーパー(経営者)	お客様の様子	・断続的な寒波の影響で朝晩の冷え込みが非常に厳しく、外出が控えられている。また、可処分所得が増えないなか、灯油価格の高騰などにより買い控えの行動がみられている。
x	スーパー(店長)	来客数の動き	・売上の前年比が93.4%という厳しい状況で2月を迎えている。2月の売上は前年比94.8%と1月よりは良くなっているが、16日に競合店がオープンしたことで、価格競争の波にのまれており、とても上向きとはいえない。
x	コンビニ(店長)	来客数の動き	・約2年前の地下鉄新規路線開通による人の流れの変化により、来客数が減少している。また、通信販売の台頭や超高齢化社会の進行も、来客数の減少に拍車を掛けている。
x	家電量販店(従業員)	販売量の動き	・日用品や野菜の価格高騰のため、家電の購入にお金が回ってこない。
x	高級レストラン(経営者)	来客数の動き	・景気が低迷しているのか、余り良い話はない。首都圏は景気が良いと聞いているが、地元にはその実感が無い。
企業 動向 関連 (東北)	-	-	-
	建設業(従業員)	受注量や販売量の動き	・3か月前と比較して、特段の受注量増加はなく、同程度の景気となっている。
	金融業(広報担当)	取引先の様子	・1次製品の小売価格の高止まりが、個人消費の心理的足かせになっているものの、住宅投資、公共投資は高水準の推移が続いている。また、雇用の動きも過去最高水準を更新しているなど、プラス要素が多い。
	農林水産業(従業者)	受注量や販売量の動き	・燃料費の高騰が収益を圧迫しているものの、直売所出品の売上は前年を上回っている。
	食料品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・2月は、観光客や出張客が若干少なかったため、販売量が伸びていない。
	食料品製造業(営業担当)	受注量や販売量の動き	・販売量の前年比が10%減少するという厳しい状態が続いている。
	出版・印刷・同関連産業(経理担当)	受注量や販売量の動き	・3か月前から毎月、売上の前年比が約10%落ちており、景気の悪い状況が続いている。
	窯業・土石製品製造業(役員)	受注量や販売量の動き	・前年同期と比較しても出荷量が伸びていない。
電気機械器具製造業(営業担当)	取引先の様子	・地元の中小的製造業においても、十分な受注量を抱えている。	

	電気機械器具製造業（企画担当）	取引先の様子	・身の回りの景気としては、大きな変化はないものの、良い状況が続いている。多くの取引先も製品開発が順調である。
	建設業（企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・手持ち工事の繁忙度の高い状態が続いている。
	輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・荷主の業種により物量に若干の増減はあるものの、比較的安定して推移している。
	通信業（営業担当）	取引先の様子	・契約更新の条件において、冷やかな客の反応が多くなっている。そのため、何かしらの付加価値をプラスしないと厳しい状況である。
	金融業（営業担当）	取引先の様子	・土木建築業の受注は堅調であり、住宅ニーズもそれなりにある。
	経営コンサルタント	取引先の様子	・豪雪により、各地で経済活動が停滞している。
	公認会計士	取引先の様子	・建設関係は相変わらず税引き前利益を計上している企業が多いが、小売業、サービス業、製造業の売上は前年を下回っており、利益も減少している企業が多くなっている。
	その他非製造業〔飲食料品卸売業〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・販売量はやや増加しているが、客単価が低く全体的に売上が落ち込んでいる。
	その他企業〔企画業〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・年末に受注した商品の納品時期を迎えている。今月から来月にかけてピークとなるが、2～3か月前と比較すれば、景気は余り変わっていない。
	農林水産業（従業者）	受注価格や販売価格の動き	・前年の果物は、天候に恵まれず品質が低下したこともあり、販売単価は全体的に1～2割低くなっている。
	木材木製品製造業（経営者）	それ以外	・年明け以降、需要の鈍化や業界間の競争激化から受注量は落ちてきている。加えて、前年来の為替円安を主要因とする原材料コストの上昇が収益を圧迫しており、厳しい状況が続いている。
	出版・印刷・同関連産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量は、官公庁は前年並みであるものの民間が落ち込んでいる。
	金属製品製造業（経営者）	取引先の様子	・受注状況が良くない。
	広告代理店（経営者）	受注量や販売量の動き	・地銀の店頭チラシやハウスメーカーのテレビCMが減少している。Webマーケティングの安価化が要因の1つではないかとみている。
	コピーサービス業（従業員）	受注量や販売量の動き	・納入した機器に対応している消耗品の売上が10%以上も落ち込んでいる。ユーザーの使用頻度が減っているのか、他社へ流れているのかを現在調査中である。
	x	*	*
雇用 関連 (東北)	民間職業紹介機関（職員）	求人数の動き	・製造業は海外向けなどの生産が好調であり、リーマンショック以降、最高の増産体制になっている企業が多い。
	人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・個人登録は過去最高の水準に達しており、活動意欲の高い求職者が多い印象を受ける。また、求人数の増加に伴い、企業側のうち大手を中心に、教育要員で幅広い層を対象にした募集を行っていることも影響しているとみている。
	人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・雇用の無期転換問題による雇止めの影響もあるのか、2月中旬から新規求職者の登録数が増加している。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・人手不足業種以外の企業においても求人数が増加している。
	人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・特に中堅中小企業において、他社へ転職する割合が3か月前と同様に多い状態が続いている。転職することは、各企業が求人活動を活発に行っているということである。
	人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・求職者数に減少はみられないものの、条件を高望みする傾向が強まっており、マッチングせず契約に結び付かないケースが多い。
	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・年度末にもかかわらず、企業の採用意欲が高まっていない。
	アウトソーシング企業（社員）	それ以外	・売上はあるものの、利益が出ていないため、結果として横ばいで推移している。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・京阪地域からの求人が増えつつあるが、地元は設備投資がなく求人は減少傾向にある。そのため全体的な求人数は横ばいで推移している。

	新聞社 [求人広告] (担当者)	周辺企業の様子	・首都圏への人材流出が進んでおり、人手不足が深刻化している。そのため、人手確保のための企業PRの広告需要が高まっている。
	職業安定所 (職員)	求人数の動き	・人手不足により採用に時間が掛かることから、求人数は増加傾向にあるものの、景気に変化はみられていない。
	学校 [専門学校]	求人数の動き	・求人獲得状況は、前年同月と比較して大きな変化はしていない。
	人材派遣会社 (社員)	採用者数の動き	・東北2県での大口受託業務が12月に終了している。別件の大口外資中途採用案件にて紹介手数料を計上できたものの、売上の前年比が7%減少、利益が前年比3%減少しており、やや振るわない状況である。
	人材派遣会社 (社員)	求職者数の動き	・求職者の動きが鈍化している。
	職業安定所 (職員)	周辺企業の様子	・燃料費の高騰が、企業の求人活動にも影響している状況である。
	職業安定所 (職員)	採用者数の動き	・臨時求人が多かったことから、有効求人数が増加している。ただし、例年同様に在職中の契約社員により新規求職者数は増加したものの、有効求職者は減少している。そのため、有効求人倍率は上がっているが、求職者が求める求人は少なく、採用件数は大幅に減少している。
	x	-	-